

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社トーカイ 上場取引所 東  
 コード番号 9729 URL https://www.tokai-corp.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅井 利明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・システム本部長 (氏名) 藤井 哲行 (TEL) 058(263)-5111  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	33,491	6.2	1,623	△0.7	1,755	△0.3	1,238	4.1
2023年3月期第1四半期	31,547	6.2	1,633	5.0	1,760	5.4	1,189	6.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,639百万円( 36.4%) 2023年3月期第1四半期 1,202百万円( 12.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	35.19	—
2023年3月期第1四半期	33.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	113,113	82,414	72.3
2023年3月期	110,785	82,223	73.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 81,835百万円 2023年3月期 81,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	21.00	—	39.00	60.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	25.00	—	26.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	135,609	4.2	7,437	△5.3	7,804	△3.4	5,121	△16.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	36,041,346株	2023年3月期	36,041,346株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	853,208株	2023年3月期	814,728株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	35,205,463株	2023年3月期1Q	35,205,507株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上における位置づけが「5類」に引き下げられたことなどにより、経済活動が急速に正常化する一方で、あらゆる業界において人手不足が深刻化するなど新たな社会課題が顕在化しております。また、エネルギーや原材料価格の高騰などによるさまざまなコスト上昇は引き続き事業活動に影響を及ぼしており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおいては、2025年3月期までを計画期間とする中期経営計画「Challenge for the new stage!」に掲げる各種施策の推進に取り組むことで、より一層の事業成長を図っております。利益面については、各種コスト高や人手不足による影響など中期経営計画策定時点の想定と大きく異なる状況が生じておりますが、引き続きリネン類の洗濯工場における生産性向上や適正価格でのサービス提供などに努めることで、最大限の収益確保と中期目標に向けて取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、コロナ禍でも当社グループの成長をけん引してきたシルバー事業の介護用品レンタルや、病院関連事業の戦略アイテム「入院・入居セット」が引き続き好調に推移いたしました。コロナ禍で厳しい環境が続いていた宿泊施設向けの寝具・リネンサプライ事業についても、観光需要の拡大に伴い順調に回復しております。また、人手不足を背景にリネンサプライ事業者向けの省人化設備や、手間をかけずに清潔を保つトイレ周り商品などの需要が拡大しており、「清潔と健康」をテーマとした当社グループの各事業において、お客様の課題解決に資するサービスの提供に注力しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高33,491百万円(前年同四半期比1,944百万円増、6.2%増)、営業利益1,623百万円(前年同四半期比10百万円減、0.7%減)、経常利益1,755百万円(前年同四半期比4百万円減、0.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,238百万円(前年同四半期比49百万円増、4.1%増)となり、売上高及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、過去最高を更新いたしました。

## [セグメント別状況]

## ① 健康生活サービス

シルバー事業の介護用品レンタルや、病院関連事業の戦略商品である「入院・入居セット」の売上が好調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた寝具・リネンサプライ事業及びクリーニング設備製造事業の売上が、観光需要の拡大に伴うホテル・旅館稼働率の回復、リネンサプライ業界の省人・省力化設備への投資意欲の高まりにより伸長したことから、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、増収効果のほか、エネルギー価格高騰に対応したお客様への提供価格見直しやエネルギー原単位改善等生産性向上に努めたことによる利益貢献はあるものの、コロナ禍の収束に伴うレンタル資材費の増加、事業拡大のための人件費の増加等により前年同四半期を僅かに下回りました。

売上高	17,344百万円	(前年同四半期比	1,141百万円増、	7.0%増)
営業利益	1,345百万円	(前年同四半期比	9百万円減、	0.7%減)

## ② 調剤サービス

当期1店舗の出店により、150店舗の事業展開となりました。

前期に出店した4店舗を含めた新店効果及び既存店の処方箋枚数増加、処方箋単価の上昇により前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、かかりつけ機能の強化等による技術料売上の増加に伴う利益増の一方、前年同四半期の原価が医薬品の供給ひっ迫などによる体制見直しなどに伴い一時的に減少していたことから、前年同四半期減益となりました。

売上高	12,486百万円	(前年同四半期比	630百万円増、	5.3%増)
営業利益	578百万円	(前年同四半期比	25百万円減、	4.3%減)

## ③ 環境サービス

ビル清掃管理事業が、感染対策など付加価値の高いサービスへの需要が引き続き高まる一方、コロナ病棟受託業務の減少などにより減収となったことに加え、太陽光発電の出力制御により太陽光事業が減収となりましたが、リースキン事業において非連結子会社を吸収合併したことにより、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、太陽光事業の減収に伴う減益はあるものの、リースキン事業における非連結子会社1社、連結子会社1社を吸収合併したことによる業務集約、効率化等の統合効果、ビル清掃管理事業における工程改善による収益性向上のほか、前期には不動産事業において不動産売却に向けた一時的な費用の計上があったことから、前年同四半期比増益となりました。

売上高	3,617百万円	(前年同四半期比	179百万円増、	5.2%増)
営業利益	328百万円	(前年同四半期比	25百万円増、	8.5%増)

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の110,785百万円から2,328百万円増加し、113,113百万円となりました。これは、現金及び預金が509百万円、繰延税金資産が263百万円減少したものの、建設仮勘定(有形固定資産「その他」)が907百万円、棚卸資産が750百万円、未収法人税等(流動資産「その他」)が664百万円、投資有価証券が434百万円、受取手形及び売掛金が417百万円増加したことが主な要因となっております。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末の28,562百万円から2,136百万円増加し、30,699百万円となりました。これは、未払法人税等が1,191百万円、賞与引当金が1,127百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が2,455百万円、預り金(流動負債「その他」)が1,293百万円、未払金(流動負債「その他」)が400百万円、繰延税金負債が318百万円増加したことが主な要因となっております。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末の82,223百万円から191百万円増加し、82,414百万円となりました。これは、配当金の支払いによる減少が1,373百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,238百万円、有価証券評価差額金387百万円を計上したことが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は72.3%(前連結会計年度末比1.4%減)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階で入手可能な資料に基づき2024年3月期通期の連結業績予想を検討した結果、2023年5月11日公表の連結業績予想を踏襲いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,070	35,561
受取手形及び売掛金	19,071	19,489
有価証券	927	927
棚卸資産	5,424	6,175
その他	1,176	1,945
貸倒引当金	△42	△45
流動資産合計	62,628	64,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,051	10,009
機械装置及び運搬具（純額）	4,100	4,087
土地	11,198	11,250
その他（純額）	7,243	8,174
有形固定資産合計	32,592	33,522
無形固定資産		
のれん	268	249
その他	1,425	1,408
無形固定資産合計	1,694	1,657
投資その他の資産		
投資有価証券	7,709	8,143
繰延税金資産	1,411	1,147
その他	5,086	4,921
貸倒引当金	△336	△331
投資その他の資産合計	13,870	13,880
固定資産合計	48,157	49,060
資産合計	110,785	113,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,159	15,614
短期借入金	1,425	1,535
未払法人税等	1,332	140
賞与引当金	2,195	1,068
役員賞与引当金	74	19
その他	5,374	7,039
流動負債合計	23,561	25,418
固定負債		
長期借入金	530	434
繰延税金負債	165	483
役員退職慰労引当金	456	436
退職給付に係る負債	2,201	2,246
その他	1,647	1,679
固定負債合計	5,000	5,280
負債合計	28,562	30,699
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,108	8,108
資本剰余金	4,934	4,924
利益剰余金	68,715	68,595
自己株式	△1,901	△1,979
株主資本合計	79,856	79,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,816	2,204
退職給付に係る調整累計額	△17	△16
その他の包括利益累計額合計	1,798	2,187
非支配株主持分	568	578
純資産合計	82,223	82,414
負債純資産合計	110,785	113,113

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	31,547	33,491
売上原価	23,964	25,528
売上総利益	7,582	7,963
販売費及び一般管理費	5,949	6,340
営業利益	1,633	1,623
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	57	67
その他	89	70
営業外収益合計	154	147
営業外費用		
支払利息	7	6
不動産賃貸原価	5	3
その他	16	5
営業外費用合計	28	15
経常利益	1,760	1,755
特別損失		
固定資産除却損	30	9
災害による損失	6	-
投資有価証券評価損	-	15
特別損失合計	37	24
税金等調整前四半期純利益	1,723	1,730
法人税、住民税及び事業税	64	65
法人税等調整額	458	416
法人税等合計	523	481
四半期純利益	1,199	1,248
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,189	1,238

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,199	1,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	388
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	2	390
四半期包括利益	1,202	1,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,192	1,627
非支配株主に係る四半期包括利益	10	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,203	11,856	3,438	31,498	49	31,547	—	31,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	0	99	109	0	110	△110	—
計	16,213	11,856	3,537	31,607	50	31,657	△110	31,547
セグメント利益又は損 失(△)	1,355	604	302	2,262	0	2,262	△628	1,633

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。  
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△628百万円には、セグメント間取引消去△1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,344	12,486	3,617	33,449	42	33,491	—	33,491
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	—	115	134	0	135	△135	—
計	17,363	12,486	3,733	33,583	43	33,627	△135	33,491
セグメント利益又は損 失(△)	1,345	578	328	2,253	△5	2,247	△623	1,623

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。  
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△623百万円には、セグメント間取引消去△8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△615百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。